

# 日比谷パークフロント

所在地：千代田区内幸町 2-1-6

登録者：三菱 UFJ 信託銀行株式会社

◆完成年月 2017年5月 ◆敷地面積 6,090㎡ ◆緑地面積 1,869㎡ (うち樹木面積 1,869㎡)

◆URL：<https://www.tokyu-land.co.jp/bldg/search/detail.php?id=94>

日比谷公園に近接する立地特性を生かし、豊かな緑に包まれた「公園の中のオフィス」をコンセプトとして、オフィス環境のいたるところに緑と触れ合える機会を設けています。特に1階のガーデンプロムナードにおいては、100種を超える樹木・草花を植えることで、施設利用者や来訪者が多様な植栽を楽しめ、公園の中を散策しているような気分を味わえる、豊かな回遊空間を形成しています。

緑化に際しては、千代田区の生物多様性地域戦略を踏まえ、本緑地が周辺の緑地空間と一体となって緑豊かな環境を創造することにより、このエリアの緑の連続性を拡充し、地域全体の生物多様性の向上へ寄与することを目指しました。そのため、在来種をベースとして植栽することに加え、地域に飛来・生息する鳥類やチョウ類の食餌木や食草を取り入れたり、鳥類が営巣できる巣箱や水場として利用できるバードバスを設ける等、地域に生息する生きものに配慮しています。

加えて、殺虫剤の定期散布や全面散布は行わず、極力捕殺や剪定によって病虫害の防除を行うなど、維持管理の面からも生きものに配慮した取組を行っています。



日比谷公園から緑のつながりを意識したエントランス



在来種を主体とした西側緑地



間伐材を用いた案内板

また、東急不動産ホールディングスグループが取り組む「緑をつなぐ」プロジェクトで保全森林から産出された間伐材を、ガーデンプロムナードの植栽を紹介する案内板に使用し、森林保全及び木材活用から成る循環型サイクル形成の推進に取り組んでいます。

江戸のみどり登録緑地

<優良緑地>

(2017年12月登録)



## 在来種植栽情報

### ○面積割合

高木	40%
中木及び低木	17%

### ○在来種の種数

高木	14種
中木及び低木	11種

### ○おもな樹種

シラカシ、タブノキ、イロハモミジ、ヤマザクラ、ヤマモモ、マユミ、リョウブ、ムラサキシキブ ほか